

分析機器部門講習会シリーズ

エクソソーム、リポソーム、タンパク質、抗体のサイズ測定を簡単に！

要旨：近年、様々な手法を用いて解析されているエクソソーム(Exosome)。がんマーカーや DDS への応用など様々な研究分野においてターゲットとされています。これらの粒子分布や多分散性などの解析に有用な弊社小型 DLS 測定装置「punk」は、僅か 5 μ l でかつ最短 30sec で測定完了いたします。

【測定レンジ】 0.3 nm～1000 nm

【分子量】 192 Da～25 MDa{タンパク質}が測定可能

【必要サンプル濃度】 0.1mg/mL

【温度コントロール】 0～90 $^{\circ}$ C

本セミナーでは、動的光散乱光 DLS により、どのようなサンプルに対して、どのような情報の解析が可能となるか、実施例を踏まえてご紹介させていただきます。

また、合わせて次世代微量分光光度計「Lunatic」もご案内いたします。

次世代微量分光光度計「Lunatic」

- ・16 サンプルを 2 分で測定できますので、複数検体の測定に便利です
- ・わずか 2 μ l で希釈不要で測定可能です
- ・高濃度タンパク質・DNA・RNA の測定可能(夾雑物の影響を受けずに dsDNA/RNA/タンパク質の濃度測定が可能)
- dsDNA(1.5～13,750 ng/ μ L), mAb(0.02～200mg/mL)を希釈せずに測定可能
- ・測定後の洗浄不要なのでクロスコンタミネーションのリスクがありません
- ・夾雑物同定が可能です。
- 独自の Unmix アプリケーションにより夾雑物を同定(DNA と RNA の測り分けも可能)、dsDNA/RNA/タンパク質濃度が測定できます。

*本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

日 時 : 平成30年12月19日(水)

(セミナー: 13:30～14:30 測定デモ(各機器先着3名様 30min～45min /組 14:45～17:00)

受講対象 : 利用者。

講習内容 : 最新技術の測定原理と研究成果と共にご紹介させていただきます。

場 所 : 医系研究棟3号館4階遺伝情報解析室

定 員 : 10人

申込期間 : 平成30年12月7日(金)まで

申込方法 : 電子メールで、subject を punk として「講習会名」、「所属講座」、「氏名」、「内線番号」、「電子メールアドレス」サンプルの有無を明記の上、 yitoh@med.nagoya-u.ac.jp 宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 伊藤 (内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

※Web でも講習会情報を掲載しています (<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)